

経営探訪

株式会社県北パネル

”木”の価値を伝える
ゼネラリストたちの挑戦

M A N A G E M E N T R E P O R T

知らないからこそ、できる挑戦

能代市二ツ井町で、玄関框や階段、キッチン等のカウンターといった住宅用木製内装部材を製造している株式会社県北パネルは、1985年の創業以来、切削・プレスから加工、仕上げ、塗装までを一貫して自社で行うことを強みに、徐々に取引先を増やしてきた。「他社が敬遠する大変なものや面倒なものを、積極的に受注してきた」という同社は、時代とともに変化するニーズを敏感に捉えながら、一貫生産ならではの短納期・低価格と、特注品への対応で他社との差別化を図り、首都圏の大手ハウスメーカーを中心とした取引先として、一般住宅から飲食店、公共施設、宿泊施設などの幅広い内装部材を納めている。

同社で、数年前から“社内改革”に取り組んでいるのが、倉持美帆さん。外資系の化粧品会社でマーケティングと営業に携わってきた経験を持ち、現在は人事や経理の事務を担う一方で、“異業種の視点”を活かしながら父である簾内匡代表を支えている。

「地元で子育てをしたいと思い帰郷しました。素人なので、まずは木の種類を覚え、仕事を知ることから始めました」。

社員が誇れる会社でありたい

「業界を知らない今の自分だからこそ、できるチャレンジがある」と思い、動き始めました。梱包方法の見直しなど、小さなことを積み重ねて無駄を省き、補助制度を調査しながら生産性向上のための設備導入も戦略的に進めています。自身の気づきと現場でのニーズをすり合わせていくことで、効率を高めるだけではなく、お互いに意見を出し合える環境づくりにも繋がっていると感じます」。

業務の効率化とともに倉持さんが取り組んだのが、自社のブランドディングツールとしての新商品開発だ。「弊社は、“県北パネル”的な名前が表に出ることがないBtoB製品を主事業としているので、手に取ってもらえる自社製品を作ることで、地域の方々や社員の家族に会社を感じてもらい、社員がさらに仕事に誇りを持てるきっかけにしたいと考えました」。倉持さんは、2015年にオリジナルの木製文具雑貨ブランド「MOXIA(モクシア)」を立ち上げた。「MOXIA」はモク(木)とギリシャ語で“価値のあるもの”を意味する「XIA(シア)」を組み合わせた造語で「木と、木を取り入れた暮らしの価値を伝えたい」という想いが込められている。

MOXIA初の商品である「木のノート」は、自らがデザインを手掛け、世界中から選りすぐった銘木の表紙と、国内一流ブランドの最高級品質の紙を用いることで、自社の高品質なものづくりを伝える商品に仕上がった。

営業社員のいない同社ではPRの機会は多くないため、倉持さんは、BtoB製品の納品事例と合わせ、子供用の木製食器や楽器の試作、木を使ったワークショップの開催などについてHPやSNSで発信。対外的なPRとして始めたが、それを見た社員から新たな提案が生まれるなど、倉持さんの取り組みは社内に新しい風を起こしている。



木で拓く未来

世代交代によりベテラン社員が減っていく中、倉持さんは、若手に持ち場をローテーションで経験してもらい、最新設備を操る技術と職人技とを持ち合わせた“スペシャリストの技術を持つゼネラリスト”的の育成を進めている。

「内装部材を一括で受注することも多く、仕上がりの色を合わせるための塗装の調整など、手作業での職人技は欠かせません。設備導入の前提として、手作業によって仕事を理解し技術を磨くことを重視し、手でも機械でも生産できる体制を維持するよう努めています。業務を固定しないことによりアイディアが生まれやすく、受注に柔軟に対応できるというメリットと、安定した品質の両立を目指しています」。

社会の新たなスタンダードに対応するため、昨年10月には東北の木材加工工場では初めて、SIAA(抗菌製品技術協議会)認証の抗菌・抗ウイルスの木製カウンターと木製部材の販売を開始した。

大きな未来に向かって、小さな挑戦を積み重ねながら、県北パネルは今日も走り続ける。



株式会社県北パネル

代表取締役 簾内 匡
〒018-3101
秋田県能代市二ツ井町麻生字上ノ野9-4
TEL. 0185-73-2732
FAX. 0185-73-2225
<http://www.kenpoku-panel.com/>

●設立／1985年
●従業員数／27名
●業務内容／住宅用木製部材製造

1 自社で全工程を行うことで様々な部材が統一感のある仕上がりとなる。
2 設備投資をバランスよくすることで、安定した品質と生産性を確保。

3 従業員の平均年齢は30代後半。兄弟や親子で勤める人も。
4 紙は最高級ツバメ中性紙フルスを使用。製本まで全て自社で実施。